

【システム工学部】

2025年度春学期履修登録スケジュールおよび各種申請手順・注意事項について

I スケジュール

I.1 履修登録

項目	日時
履修登録申請期間※1	・ 在学生：4月2日(水)12時～4月4日(金) 23時59分 ・ 新入生：4月3日(木) ～4月4日(金)
履修登録抽選結果	4月9日(水)12時までに順次公開
履修登録確認・修正期間	4月9日(水)12時～4月23日(水)23時59分 ※4月20日(日)はメンテナンスのため操作不可
8.9月集中科目履修削除申請期間※2	初回授業日の23時59分まで

※1 2024年度後期履修科目の「自己評価授業アンケート」と「気づきアンケート」が未回答の学生は申請不可

※2 申請書提出で削除のみ可能

I.2 各種申請

項目	日時
・ 学外単位認定 ・ 「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」	3月31日(月)～4月4日(金)
他学部他学科履修	4月9日(水)12時～4月23日(水)23時59分
東京理工系大学 特別聴講生	未定 別途ScombZにて周知

2 注意事項

2.1 履修登録申請

2.1.1 ログインと申請の準備

- S*gsotにログイン後、メインメニューから【履修】→【履修申請】を選択
- 表示される「注意事項」「履修登録を始める前に」「簡単な使い方」を確認

2.1.2 履修申請に関する注意点

- 科目の検索：右上の検索画面で科目を検索可能
- 単位数の確認：注意書き「履修登録単位数上限表」を参照
- 同一科目の履修申請：1クラスのみ申請可能
- 指定クラス：一部の共通科目は指定されたクラスを申請
- 上級学年科目：対象学年以上でない科目は履修不可
- 再履修：単位未取得科目のみ再履修可能
- 同一科目の年1回履修制限：同一科目は年1回のみ履修登録が可能です
※「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」を除く

2.2 履修申請後～履修申請結果発表

- 申請内容の変更：期間中はS*gsotで追加・削除が可能

- 抽選：定員のある科目（共通科目）は申請終了後に抽選が実施される
- 結果確認：
 - ・ 結果発表日に S*gsot【履修】→【履修登録（修正）】トップ画面で確認
 - ・ 一部データが早めに ScombZ に表示される場合があるが、最終結果は必ず S*gsot で確認

2.3 履修登録確認・修正期間

2.3.1 ログインとメニュー選択

- S*gsotにログインし、【履修】→【履修登録（修正）】を選択

2.3.2 履修の修正方法

- 履修削除：登録完了済み科目の【履修辞退】ボタンを選択すると削除可能
- 履修追加：定員に達していない追加可能な科目には【先着順申込】ボタンが表示され登録可能

2.4 注意点

- 再登録制限：削除した科目と同じ名称の科目を、別の曜日や時限で再登録不可
- 反映タイミング：S*gsotでの修正内容は翌日 ScombZ に反映
- 結果確認：必ず S*gsot 上で最終結果を確認

3 各種申請について

3.1 学外単位認定

3.1.1 申請方法：他大学等で単位を取得後、大宮学事・学生課に以下の書類をメール提出 (ogakusei@ow.shibaura-it.ac.jp)

- 学外単位認定申請書 ([各種届出用紙 | 芝浦工業大学](#))
- 申請科目の成績証明書（取得教育機関発行）
- シラバス

3.1.2 注意点：

- 可能単位数：最大60単位まで
- 他大学の履修科目が本学の開講期間と重なる場合、履修単位上限に含まれるため、申請前に履修指導学年担当の許可を得ること

3.2 「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」の単位認定

3.2.1 申請方法：大宮学事・学生課に以下の書類をメール提出 (ogakusei@ow.shibaura-it.ac.jp)

- 学外英語検定Ⅰ・Ⅱ認定申請書 ([各種届出用紙 | 芝浦工業大学](#))
- 各種英語検定試験の証明書類

3.2.2 注意点：

- 具体的な手続きについては「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ認定申請書」下部の【申請の注意事項】を参照のこと
- 面接試験の受験後、成績が決定（成績通知書で確認可能）

3.3 他学部・他学科履修

3.3.1 申請方法：授業担当教員および履修指導学年担当の許可を得て、大宮学事・学生課に「他学部・他学科科目履修申請書」（[各種届出用紙 | 芝浦工業大学](#)）をメー

ル提出 (ogakusei@ow.shibaura-it.ac.jp)

3.3.2・注意点:

- 取得可能単位数：最大30単位まで
- 履修可否はS*gsotで確認
- 抽選科目は開講学科の学生が優先され、定員に達した場合は履修不可
- 申請した科目の削除はできない
- 申請が認められた科目は履修制限単位数に含まれる
- 単位認定の目安について学科ごとに異なるため、別表参照のこと

3.4 東京理工系大学 特別聴講生

3.4.1制度概要:

他大学（東京電機大学、東京都市大学、工学院大学）の授業を「特別聴講生」として受講可能

3.4.2費用:聴講料、入学検定料、入学金は免除

※実験・実習等の実費は自己負担

3.4.3・申請方法:

- 豊洲学生課から案内を確認（ScombZのお知らせを参照）
- 大宮学事・学生課が履修申請を代行し、審査結果を別途通知

3.4.4・注意点:

- 申請には在籍学科の承認が必要
- 単位認定には、受講終了後に「学外単位認定」の手続きが必要（最大60単位に含まれる）
- 卒業要件算入の可否は在籍学科で決定される

2025年3月 大宮学事・学生課

【システム理工学部】 履修登録単位数上限について

学科・入学年度別履修登録単位数上限表

学 科	2020年度以降入学生	2018年度・2019年度入学生	
		春学期	秋学期
電子情報 システム学科	半期25単位以下、年間50単位未満とする。 （前の期にGPA3.7以上の学生は、半期30単位以下とする。 前期に25単位を超えて履修登録したとき、前期GPAが3.7未満の場合でも、後期に25単位未満の履修登録ができる。） ※前の期：休学者は、休学直前の期のGPAを対象とする	半期30単位以下、 通年50単位未満とする	半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 （前期のGPA値3.4以上の学生は通年60単位未満とする）
機械制御 システム学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 （前期のGPA値3.5以上の学生は通年60単位未満とする）
環境システム学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 （前期のGPA値3.3以上の学生は通年60単位未満とする）
生命科学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 （前期のGPA値3.4以上の学生は通年60単位未満とする）
数理科学科			半期30単位以下、 通年50単位未満とする。 （前期のGPA値2.8以上の学生は通年60単位未満とする）

- 履修登録単位数制限は、全ての科目を対象とします。（「集中講義」、「学外英語検定Ⅰ・Ⅱ」を除く）
・他学部・他学科・他大学での履修単位も制限に含まれます。
※2020年度以前入学生は「自由科目」は制限対象外とします。
- 編入学、転部・転科者は、「学修の手引」配当年度の欄を参照してください。
- 教職課程登録者で超過履修申請を希望する学生は、教職課程教員に問い合わせてください。

2025年3月 大宮学事・学生課

2025 年度 <他学部・他学科履修について> <別表>

自学科の履修指導学年担当教員または研究室の指導教員に履修について相談し、期限内に申請してください。

学科	他学部・他学科履修および単位認定の目安
電子情報 システム学科	●基礎科目 自学科で開講されている科目は、自学科で履修すること。 ※原則として、自学科の履修のみ可とする（他学科履修は認められない）。 ●システム・情報科目 「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 →自学科の履修のみ可とする。（他学科履修は認められない） ●専門科目 既に他学部・他学科において取得済みの専門科目の単位と合わせて、 その合計が10単位を超えない範囲とし、かつ学科がその必要性を認めたもの。 ◆P1クラスとP2クラスのクラス別履修条件 原則として、P1クラスとP2クラスに分かれて履修する科目においては、 再履修においてもP1クラスとP2クラスの所属は変更せずに履修すること。
機械制御 システム学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、必ず自学科の履修指導学年担当教員または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ただし、自学科に同様の科目がある場合には、基本的に他学部・他学科履修は認められない。
環境 システム学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の履修指導学年担当教員または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ●基礎科目 原則として、自学科で開講されている科目は、自学科で履修すること。 ただし、再履修する基礎科目が、履修を希望する専門科目と授業時間が重複する場合には、同一科目の基礎科目の他学科履修を認める。 ※ 履修する基礎科目の授業担当教員の許可を取ること。 ※ 他学科履修する基礎科目が環境システム学科において必修科目の時は必修科目として、選択科目の時は選択科目として認定し、卒業要件単位数に含める。 ●システム・情報科目 「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 →自学科の履修のみ可とする。（他学科履修は認められない）
生命科学科	履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の履修指導学年担当教員または研究室の指導教員に履修について相談すること。 ●基礎科目 原則として、自学科で開講されている科目を履修すること。 ただし、「必修科目」や「選択必修科目」など学科で指定した科目と重複している時に限り、他学科履修を認める。 ●システム・情報科目 「情報処理Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」 →自学科の履修のみ可とする（他学科履修は認められない）。 ◆コース別履修条件 ※ 生命科学コース（Na）と生命医工学コース（Nb）に分かれて履修する基礎科目においては、原則として自コースの授業を履修すること。 ただし、専門科目の「必修科目」など学科で指定した科目に限り、他コースの授業の履修を認める。 ※ 他コース履修において取得した単位は、自コース履修と同様に卒業要件へ算入される。
数理科学科	自学科に同様の科目がある場合は、基本的に他学部・他学科履修は認めない。 他学部・他学科履修をせざるを得ない場合は、履修希望の授業担当教員に履修許可をもらう前に、自学科の授業担当教員に履修の可否について相談のこと。 卒業要件に算入されない「自由科目」となる場合があるので、履修指導学年担当教員に確認すること。

※ 他学部・他学科履修により取得した単位の卒業要件の算入については、学内審議の結果により認められない（自由科目となる）場合があります。

※すべての科目が学科ごとに別時間で開講されているわけではありません。

※今年度別時間の科目でも次年度も同じく別時間とは限りません。